

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 12 月定例会

2 開 催 日 時

平成 29 年 12 月 13 日（水）8 時 30 分開会 8 時 58 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

白水教育次長、江寄教育総務課長、平川学校教育課長、
佐藤生涯学習課長兼図書館長、木村学校教育課参事兼課長補佐、
中島学校教育課参事兼教育相談係長、山津生涯学習課参事、
豊増学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、
八尋生涯学習課長補佐兼生涯推進係長、原教育総務課総務係長、
有馬学校教育課学校教育係長、久山生涯学習課文化財係長、
栗山生涯学習課図書係長

7 傍 聴

なし

8 経 過 報 告

11 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

11 月定例会の議事録承認

【承認】

10 議事及び審議結果

なし

11 協議報告事項

- (1) コミュニティ・スクールについて
- (2) 鳥栖市子ども読書活動推進計画の素案について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会 1 月定例会 平成 30 年 1 月 10 日（水）午前 9 時から

鳥栖市教育委員会 12 月定例会議事録

●天野教育長

皆さん、おはようございます。今朝は本当に冷えまして、外は零度ということでございまして、寒くなって参りました。

12月1日からスタートしました12月の定例議会も、今日からいよいよ一般質問が始まります。15名の議員さんから質問が出ておりますが、教育関係は7名の議員さんから出たということで、相変わらず学校教育課は多い状況です。今日も1発目が松隈議員ですけれども、学校教育課の内容ですので、しっかりと答えていきたいと思っております。

学校現場では、心配しておりましたインフルエンザは、鳥栖北小学校で1学級が学級閉鎖になりましたが、その後は、田代中学校で流行っているようではありますけれども、学級閉鎖にはなっていないと聞いております。2学期もあと1週間程になりまして、事故のないことを願ってはおりますけれども、実は一昨日、鳥栖小学校の5年生が飛び出して、足首骨折し、1か月の入院という報告を受けて、非常に心配をしております。これ以上、事故がないことを願っております。

それでは、ただいまより教育委員会12月定例会を始めます。最初に経過報告をお願いいたします。江寄課長。

●江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございました。それでは経過報告につきまして、何か御質問等ありましたらお願いいたします。いいでしょうか。

(「はい」の声あり)

次に議事録承認ということで、議事録が3ページから11ページまであります。しっかり記録していただいておりますけれども、何かありましたら事務局にお願いいたします。

今回は議案がありませんので、3番の協議報告事項に移ります。最初にコミュニティ・スクールの導入についてお願いいたします。平川課長。

●平川学校教育課長

前回の教育委員会定例会以降、コミュニティ・スクール、学校運営協議会の導入に向けて、経過の御報告をさせていただきます。資料等はございません。口頭にて失礼いたします。

教育委員会11月定例会の後、11月17日に基里小学校と基里中学校の学校訪問がございました。副田委員様にもお出でいただきました。その中で、来年度、平成30年度から基里小学校と基里中学校で学校運営協議会を導入していくということにつきまして、教育長から小中学校の職員にお話をさせていただきました。

それから先ほど経過報告の中でもありましたように、11月20日から21日にかけて、別府市教育委員会、別府市内の小中学校、それから、義務教育学校大分市立碩田学園に、教育長を初め教育委員の皆様、それから基里小学校の校長先生と視察に行ったところです。委員の皆様も御承知のとおり、別府市の取り組みには、大変参考になるところがあったと思っております。導入に際しましての準備や課題など、整理すべきこともたくさん御示唆をいただいたところです。

いろいろなお話の中で、学校運営協議会導入後、学校運営協議会の会議の内容であったり、地域との関わり方であったり、学校運営への協力体制、それから、運営

協議会委員の活動などについて、導入後に検証する期間を持つ必要があるのではないかとこのところから、前回、平成 31 年度から田代中学校区へ広げていくとお話しておりましたが、田代中学校区 4 校への導入を平成 31 年度からではなく、延期をすることがよかろうという判断に至っているところでございます。

このような研修などを踏まえまして、今後の予定でございますが、年内に基里小中学校の校長先生、教頭先生と学校教育課の担当職員とで、今後の導入に向けて、運営委員の選出や、地域の会議、区長会とか民生委員会とか、そういう会議で説明をどのようにしていくか、また、いつしていくか、それから、校内の組織などについて、具体的などころを詰めていくこととしています。そして、年が明けまして 3 学期から具体的に学校や地域で動きやすくなるような計画準備をしていきたいと考えているところでございます。また、11 月の定例会で御指摘をいただきました、学校運営協議会を公開するということについての整理しなければならないこととか、学校運営協議会委員の報酬等についても予算獲得について、御報告できる状況になりましたら、改めてこういう会で御報告をさせていただきたいと思っております。以上、経過報告について、お伝えをいたしました。以上です。

●天野教育長

ありがとうございました。委員の皆様方から御質問、御意見等ありましたらお願いいたします。いいでしょうか。

今、課長の話にありましたように、最初の案では、平成 31 年度から田代中学校区で実施ということでしたけれども、検証する機会をしっかりと設けて、課題を受けて、それを次に活かすということで、拙速に推し進めるのではなくて、検証するべきではないかということで、その辺については、今後の計画を立ててやっていきたいと思っておりますけれども、12 校全体でコミュニティ・スクールをすることは決定事項でありまして、その辺は確実に行っていきたいと思っております。それではいいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございました。それでは、次に鳥栖市子ども読書活動推進計画の素案についてお願いします。

●佐藤生涯学習課長兼図書館長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございました。鳥栖市子ども読書活動推進計画案ということで、しっかり今から練って、作っていただくということになりますけれども、委員さん方からの御意見、御質問等をお願いいたします。戸田委員さん。

●戸田委員

大変、重要な取り組みだと思っておりますけれども、一つ教えていただきたいのは、本推進計画ができることによって、新しく可能となること、この中にあることの多くは、現段階でもかなり取り組まれていることも含まれていると思っておりますので、この計画ができることによって、市が或いは現場ができるようになることについて、教えていただけませんか。

●天野教育長

佐藤課長。

●佐藤生涯学習課長兼図書館長

具体的に、こういうことが今後、新たな取り組みとなるというものについて、ここでお示しすることというのは、なかなか難しいのですけれども、仰るように、こ

れまで読書活動の推進に関して、全く取り組んできていない訳でもなく、今までやってきたことを整理し、なおかつ、これからどういう形で取り組んでいくのかということを中心に、策定に向けて話をしてきました。その中で、この素案について、関係部署の課長さん、或いは学校の校長先生とかと話をしていく中で、やはり子どもの読書離れというのは大きいと。特に中学生、高校生あたりの読書離れは、かなり進んでいるということも挙げられましたけれども、その中で、やはり、読書というのはとても大切なこと、それから、その中で、この取り組みを進めるためには、図書館の役割というのが、とても大切で大きいということを改めて認識することができましたので、そういった意味では、必要性、重要性を再認識して、それから関係機関の連携、そして、図書館の支援というものが、今後、中心になっていくと考えております。以上です。

●天野教育長

戸田委員さん、いいですか。

●戸田委員

はい。

●天野教育長

他にありませんか。古澤委員。

●古澤委員

私もこれは非常に重要な施策だと思っています。特に最近、問題になっているのが読解力の問題。そこら辺も、ひいては関わりが出てくるのかなと思っています。それと、この施策そのものの大きなウエートを占める分は、今、佐藤課長さんは、「図書館、これをしっかりと」ということでしたけれども、それも一つですけれども、家庭で、子どもにだけ「しっかりと本を読みなさい」ということを言っても、モデルとなる親御さんが一緒に本に親しむようなことが必要ではないかと思えます。「お父さん、お母さんも読んでいるから自分も」という感じのほうが、ごくごく自然で長続きするのではないかと感じているところです。

勉強のために本を読むのではなくて、趣味として読書するというところからスタートして、それがひいては読解力とか、数学とか、いろんな部分の問題も、問題を正しく理解できない子どもさん方が増えてきているという昨今ですので、そこら辺が非常に大事だと思っています。佐藤課長は良くお分かりということは分かっていますので、しっかりと応援の意味で意見を言わせていただきました。

●天野教育長

ありがとうございます。ということで、ちょっと責任重大でございます。

副田委員。

●副田委員

多分、これまで余り取り組んでいていなかったことの中にブックトーク、そして、ストーリーテリングというものがあると思います。そこに今後、力を入れていくという、そのような御計画はおありでしょうか。

●天野教育長

佐藤課長。

●佐藤生涯学習課長兼図書館長

具体的な取り組みの中の一つには挙げておりませんが、いろんなことで、できるだけ子どもたちに読書に親しむ、或いは本に親しむ、そういう環境づくりのために、いろんな取り組みを今後、やっていきたいと考えておりますので、その一つとして検討させていただきたいと思えます。ありがとうございます。

●天野教育長

副田委員。

●副田委員

もしかしましたら、私が今、「ブックトーク」、「ストーリーテリング」という言葉が発しましたが、それは一体どういったものなのかと、よくお分かりにならない方もいらっしゃるかもしれませんので、補足させていただきます。

「ブックトーク」と申しますのは、例えば、図書館司書のような方たちが子どもたちに対して、大体、目安としては30分です。30分の中で、5、6冊の本をあらかじめとして紹介する訳です。その時にテーマを決めて紹介する訳ですね。例えば、「星というテーマで、今日は5冊の本を紹介します」といった場合に、文字がたくさん書いてある本が好きな子もいれば、文字が苦手なので、絵や写真が多いものが好きという子もいますので、それをそのところから「読書が好きだな」「本はおもしろいな」という興味の取りかかりにしてもらおうということです。例えですけれども、「星」というテーマにいたしましたら、「星の王子様」或いは、星の図鑑などのようなものとか、或いは、斎藤隆介さんの本ですが、「モチモチの木」というのも、星には由来していないようですが、テーマを星というものに括りましたら、「モチモチの木の後ろで星が光っていたから木が燃えるように見えたのだよ」という、そのようなテーマの一括りにして、子どもたちの興味をそそる訳ですね。その中から、「それでは一つ、今日はストーリーテリングしてみましよう」ということで、本を紹介した中から一つ語るという。それが、「ブックトーク」と「ストーリーテリング」と言われるものです。因みに、ここに凄く力を入れているのは岡山県です。岡山の図書館司書の方たちは、その「ブックトーク」、「ストーリーテリング」の本も出していらっしゃると思いますので、ぜひ御参考にしていただいて、本好きの子どもを増やしていただきたいと思います。以上です。

●天野教育長

ありがとうございました。副田委員さんは、読書活動の方に非常に造詣が深いので、今言ったことも含めて、いろんな面で御支援とか御指導とか、今後ともよろしくお願ひしたいと思っています。他にありませんか。吉原委員。

●吉原委員

学校については、小学校は特に学校訪問とかでまわらせていただくと、読書の冊数を競い合わせるなどして、かなり取り組みをしてあると思います。幼稚園や保育園にも読み聞かせとかあると思うのですが、中学校になると、いきなりそういうのが減ってくるのかなと思いますので、ある程度、急に読書が減るようなところに重点を置いて、図書館としてどういう支援ができるのかという、ちょっと点を考えたようなところを考えていくのも、一つ必要なのかなということで、連携は大変な仕事かと思いますが、そういうのを含めて期待しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

●天野教育長

ありがとうございます。それぞれ委員さん方からの大きなメッセージをいただきましたので、しっかり、佐藤課長、栗山係長、よろしくお願ひしたいと思います。私もこの推進計画を作られるということで、非常に素晴らしいなということを思っていました。今、活字離れ等も含めて、いろいろなことを言われていますし、非常に重要な部分なので、今、佐藤課長が言われましたように、連携と支援、コーディネート的な形をしていただくとお願ひするのですが、そういった意味で、家庭と地域と保育園、幼稚園、こども園と学校という、この4つのところとの図書館

との繋ぎも含めて、しっかりとその辺はお願いしたいと思っています。

この読書活動推進計画の4ページを見ると、家庭における子どもの読書活動の推進というのがあるのですよね。私は、特にこのところが、さっきも出たように非常に重要だろうと思っています。家庭の読書活動を如何に充実させて、推進させていくかということなのですね。そこの2番目に「家読（うちどく）の推進」とありますね。平成27年度でしたかね、家読の県の大会をこの鳥栖市で行ったということで、あの時、ぱっと盛り上がりました。それで、読み聞かせの方々も組織して、組織した方々もしっかり出てきていただくとか、いろんなことをしたのですが、あれから「28年度やろうね」と言っていたのですが、だんだん時間とともに、なかなか難しい部分も出てきたなと思っていますので、この際、もう一度、この家読も含めて、家庭と地域とこども園と学校。特に学校は、これはいい機会ですので、学校の方もしっかりこの辺は、指導しながら推進していかなくてはいけないと思っていますので、来年度に向けて、これが大きく発展していくことを願っております。他にいいでしょうか。

（「はい」の声あり）

ということで、大きな期待をいただきましたけれども、子どもの読書活動推進計画の素案について、これで終わります。

それでは、協議報告事項も、この2つでございましたが、次に今後の予定をお願いします。江寄課長。

●江寄教育総務課長

（資料に基づき説明）

●天野教育長

ありがとうございました。今後の予定について、御質問等いいでしょうか。

（「はい」の声あり）

それでは、これをもちまして、12月の定例会を終わります。皆さん、どうもありがとうございました。

議事録署名